

氏名	辻 あさみ(つじ あさみ)
職名	教授
専門分野	成人看護学(慢性看護学)
学歴	和歌山県立医科大学大学院医学研究科地域医療総合医学専攻 満期退学
学位	博士(医学) 和歌山県立医科大学
担当科目	(学部)教養セミナー、慢性期看護論Ⅰ、慢性期看護学論Ⅲ、急性期看護論Ⅲ、保健看護研究Ⅱ、保健看護管理演習、早期体験実習、統合実習Ⅰ、慢性期看護実習、統合実習Ⅱ (大学院)慢性期看護特論 慢性看護学演習
研究テーマ	1. 直腸がん患者の就労支援のためのグループ介入プログラムの開発と評価 2. 大腸がん患者のがんサバイバーシップを高めるセルフヘルプグループプログラムの開発 3. 慢性期看護実習における看護学生の達成感に関する研究 4. 慢性期看護実習における学習意欲に関する要因の研究
所属学会	日本慢性看護学会、日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本がん看護学会、日本看護教育学会、日本医学看護学教育学会、日本保健医療行動科学科学会、和歌山県立医科大学保健看護学会等
研究業績	<p><著書></p> <p>1. 辻あさみ, 鈴木幸子:がん看護増刊号「手術をめぐるがん看護—直腸がんでマイルズ法を受けた男性患者の看護」:18(2) B1247-250, 南江堂, 2013.</p> <p>2. 鈴木幸子, 辻あさみ:がん看護増刊号「手術をめぐるがん看護—術後イレウスと予防」:18(2) 219-222, 南江堂, 2013.</p> <p>3. 辻あさみ, 竹村節子:第Ⅱ部 実習を生きる・5ターミナル期におけるヒューマンケアの実際・C学生の実践例からヒューマンケアを考える. ヒューマンケア共同出版研究会編, 実習・実践のためのヒューマンケア入門, 41-47, 金芳堂, 2005.</p> <p><論文></p> <p>1. Asami Tsuji, Ikuharu Morioka, Kazuhisa Miyashita, et al.: Original Article Effectiveness of Patient Group Meetings for Postoperative Patients with Defecatory Dysfunction. Int J Nurs Clin Pract, 4: IJNCP-260, 2017.</p> <p>2. Asami Tsuji, Yukiko Suzuki and Ikuharu Morioka: Research Article: Clues to Supporting a Patient who Underwent a Low Anterior Resection Operation. Int J Nurs Clin Pract, 2: IJNCP-129, 2015.</p> <p>3. 辻あさみ, 鈴木幸子:低位前方切除術後患者の排便機能障害の対処に影響する病気の受け止め方の相違. 日本医学看護学教育学会誌, 20, 14-19, 2011.</p> <p>4. 辻あさみ, 鈴木幸子:低位前方切除術後患者に排便機能障害が及ぼす心理的影響とその対処. 日本医学看護学教育学会誌, 18, 34-38, 2009.</p> <p>5. 辻あさみ, 上田伊津代, 山口昌子, 今堀陽子, 池田敬子, 坂本由希子, 畑野富美, 上田稚代子, 鈴木幸子:慢性期看護実習Bにおける看護学生の達成感を構成する要素の分析. 和歌山県立医科大学保健看護学部紀要, 6, 19-26, 2010.</p> <p>6. 辻あさみ, 鈴木幸子, 山口太津子, 東眞美:低位前方切除術後患者の排便機能障害の実態と克服するための指導. 和歌山県立医科大学保健看護学部紀要, 3, 5-11, 2007.</p> <p>他22編</p> <p>受賞歴</p> <p>・Best Poster Presentation (Asian Oncology Nursing 2015 Conference in Soul Korea, 2015.) Experiences and perception of the patient who had undergone the low anterior resection operation to accept the defecation function Troubles.</p>
メッセージ	<p><活動の紹介></p> <p>現在は排便機能障害のある大腸がん人への支援を行っていますが、がんに限らず、疾患のある人が疾患を受け入れ、疾患と折り合いをつけながら前向きに生活がおくれるための支援とは何かを考えていきたいと思っています。</p> <p><学生へのメッセージ></p> <p>”相手の立場になって考えることができる”..そんな看護師に、人になれるよう、私もみなさんと一緒に学びながら成長していきたいと思っています。よろしくお願ひします。</p>
メールアドレス	tsuji-nc@wakayama-med.ac.jp